

市の復興に向けた「まちづくり」を提案



田村市まちづくり事業の一環である「国際建築都市デザインワークショップ田村2013」が7月28日、ウエディングプラザ丸美で開かれ、学生や市民など約100人が参加し、市の復興に向けたまちづくり指針が発表されました。

この国際ワークショップは、日本建築学会が震災と原発事故の被災地域の再生をテーマに主催。建築学や都市工学を学ぶ国内とアメリカ、フランス、インド、タイなどの海外の学生約30人が参加し、明治大学の小林教授、東京大学の出口教授などの指導の下、市内に7月20日から9日間滞在し、現地調査などを通して将来の地域の姿を描き出しました。

発表会では、都路地域のコンパクトな生活圏を備えた「エコビレッジ」の構想や船引駅周辺の河川や商店街を活かした市街地の再構築など6つの提案が発表されました。講評会では、日本建築学会からワークショップの成果として「結：自然と街、街と街、街と人を結うデザイン」の指針が提案されました。

古里への思い新たに「ふるさと滝根会」



ふるさと滝根会の総会が7月28日、東京都千代田区の東海大学校友会館で開かれました。会員と来賓など約80人が出席し、和やかな雰囲気の中で、会が進められました。事業計画では、福島第一原子力発電所の事故後放水活動を行った東京消防庁、ハイパーレスキュー隊の視察を行うことなどが決められました。

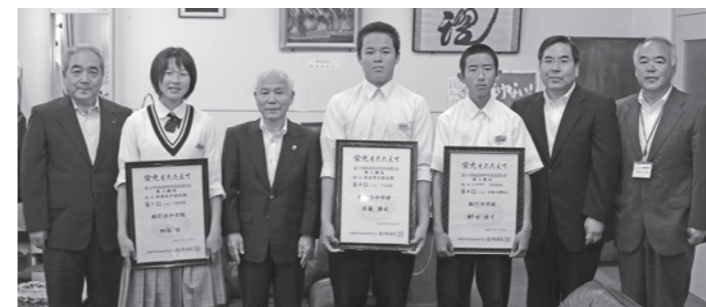
交流会ではバイオリン、フルート、シンセサイザーの演奏や抽選会が行われ、最後は盆踊りの輪ができるなど、会場は大いに盛り上がりました。ふるさと商品の販売も好評で、大盛況で終了できました。

スポーツを通してB & G交流



第28回B&Gスポーツ大会福島県大会が7月21日、柳津町B&G海洋センターで開かれました。福島県B&G地域海洋センター連絡協議会主催のこの大会は、県内の各B&G海洋センターで日頃、スポーツに取り組んでいる青少年を対象に、体力の向上とB&G相互の連携と親睦を図るために開催されています。今回、県内5カ所から水泳の部に48人、剣道の部に35人の子どもたちが参加し、互いの力を競い合いました。

陸上競技の東北・全国大会出場選手を激励



陸上競技の東北大会や全国大会に出場する中学生3人の激励会が8月1日、市役所で行われ、富塚市長が激励しました。写真左から出場選手：女子砲丸投げ(県大会1位)船引南中3年・柳沼翠さん、男子砲丸投げ(県大会4位)船引南中3年・佐藤謙成さん、男子1500m(県大会4位)船引中2年・栞田健司さん。船引中学校の根本校長(写真右)、船引南中学校の加藤校長(写真右から2番目)が同行しました。

主役登場に拍手と歓声



市文化センター自主文化事業ファミリーコンサート「音楽の絵本」が7月13日に開かれました。主演は「ズーラシアンブラス」と「弦うさぎ」の演奏家たち。クラシックの名曲や童謡が演奏され、大勢の親子が珠玉のメロディーに聞き入っていました。

震災の思い新たに



福寿草大学の移動学習が7月9日に行われ、川内村のKiMiDoRiの野菜工場を見学しました。県道36号を通り、いわきの被災地では津波で破壊された家や写真を見学。当時の状況を肌で感じ、受講生全員がさまざまな思いを胸に帰ってきました。

船引地域へ恩返し



船引運動場応急仮設住宅自治会(宗像勝男会長)が日頃お世話になっている船引地域に恩返ししようと8月4日、草刈りや花の手入れなど清掃活動を行いました。

この活動は昨年も行われ、ことしは船引駅北口から国道349号までの市道源次郎畑添線(通称平和通り)の歩道と運動場周辺を時間をかけ丁寧に作業しました。

ストレス解消にも最適



常葉公民館の女性学級が7月6日に開かれ、船引駅2階のYOU・FITたむらで「運動教室」が行われました。学級生は、日ごろの運動不足を一気に解消しようと張り切って参加していました。トレーニングマシンなどを体験して、程よい疲れと心地よい汗をかくことができ、皆さん満足げな表情を浮かべていました。